



子どもを取り巻く環境と対応について

斉藤 貢一 議員



質問 子どもを取り巻く環境や教育体制の変化について、どのように考えていますか。

答弁 情報化や少子化、核家族化の進行、また地域のつながりや家庭の教育力にも変化が生じていますが、全ての子どもが未来に希望を持てる館林市の教育を目指す。

指していきます。

質問 公共施設等総合管理計画に基づく取組の中で、城沼市民プールは将来的に廃止の方向性が示されましたが、子ども議会においては、3人からスライダーの改修やクラウドファンディング等を利用した存続を求める質問がありました。そ

れに対し、全体改修では多くのお金がかかるため、現状を維持しながら維持管理に取り組むとのことでしたが、どのような工程を組もうとしているのか伺います。

答弁 現状のまま長くプールを運営できるように、引き続き予算内での修繕を行い、安全に運営できなくなった場合には、廃止せざるを得ないと考えています。

質問 学校プールの運営方法についての検討は、どのようになっているのか伺います。



保育園の民営化と認定こども園化について

篠木 正明 議員



質問 渡瀬保育園と成島保育園の民営化によって、どのような特色ある教育・保育が実施できるのですか。

答弁 多様な特性を持つ子どもに専門的な対応や絵画・音楽・英語活動の実施。防犯カメラの設置とICTの活用です。

質問 防犯カメラやICT

は保育内容とは関係ありません。これを特色だと思つたのですか。

引継ぎ保育は、いつからどのように行うのですか。

答弁 今年11月には渡瀬保育園、成島保育園で引継ぎ保育を開始する予定です。

質問 5月26日に2つの保育園の「民間移管に係る移

ます。

答弁 学校間での施設の共用等は、児童生徒の移動の安全確保等の課題があり、現状では困難だと考えています。老朽化の中でも、修繕を計画的に行い、大事に使っていきたいと考えています。

要望 館林市立学校適正規模・適正配置に係る検討が進んでいますが、城沼市民プールや民間のプールの活用や共用も検討していかなくてはならないと思います。

答弁 会計年度任用職員については、民間事業者への就労支援と他の公立園への再配置を考えています。

質問 渡瀬保育園と成島保育園の職員は約50人です。民営化で会計年度任用職員50人が雇止めになる恐れがあります。職員は不安です。不安解消のため、会計年度任用職員への説明会の予定はないのですか。

答弁 この議会が終わった後に説明会を開催したいと考えています。

子ども議会での答弁では、廃止という方向性は一切出ませんでした。存続を願い、色々な提案をしてきた子どもたちにとって、ごまかしの答弁だったと思います。市民アンケートでは、子連れで出かけやすく楽しめる場所を要望する人が約75%あり、「子育てに優しいまち館林市」を目指すのであれば、ごまかしではなく、真剣に学校プールと市民プールの方向性を考えていただくことを要望します。

質問 市が進める民営化に伴って余剰人員が出るので、すから、職員本人の希望を聞き、一方的な雇止めにならないようにしてもらいたいと思います。

杉並幼稚園と六郷保育園及び西幼稚園の認定こども園化はどのように検討されているのですか。

答弁 工事費用や園児数の推移などをもとに見直し中です。令和11年度に認定こども園として開園する予定です。